



Civil Society
Initiative Fund

基盤強化事業／セミナー・シンポジウム を開催しました。

遺贈寄付セミナー～遺贈寄付の基礎と活用事例を学ぶ～

【開催概要】

開催日時：2025年6月20日（金）14:00～16:30

開催場所：日本NPOセンター地下会議室

このたび「遺贈寄付セミナー～遺贈寄付の基礎と活用事例を学ぶ～」を開催しました。当日は、遺贈に関心のある寄付者、税理士、司法書士、活動団体から11名のお申込み・ご参加いただき、登壇者との質疑の時間も盛り上りました。

本セミナーでは、遺贈寄付について、事例とともにご紹介しながら、遺言者の思いを活かすために大事なことや必要な方法について探るべく、遺贈私論、遺贈寄付の動向、税制や実務対応の基礎、実際の寄付事例と課題などについて3人の登壇者から紹介しました。

【プログラムの内容】

■趣旨説明・遺贈私論「意志ある資金を活かすには」

当団体理事長の山岡義典より、趣旨説明と遺贈私論「意志ある資金を活かすには」についてお話ししました。



山岡理事長

■知っておきたい「遺贈の基礎知識（税務）」

続いて、早坂毅氏（税理士・行政書士、有限会社 サテライトオフィス 代表取締役）より、持参いただいた遺贈募集の広告が掲載された新聞記事も活用しながら、「遺贈の基礎知識（税務）」についてお話をいただきました。

■社会に貢献する「遺贈寄付の活用事例」

最後に、実吉威（公益財団法人 ひょうごコミュニティ財団 代表理事および市民社会創造ファンド 理事）より、「遺贈寄付の活用事例」についてお話ししました。



早坂氏

実吉氏

■質疑応答

登壇者3名の話を踏まえ、参加者からは「金融機関とのつながりはどうか」「遺贈寄付の窓口をつくるべきか」という質問があり、それぞれ回答いただきました。その後、会場全体で情報交換を行いました。

+++事務局より++++++

いつ、どのような経緯で寄付のお申し出が来るのか分からぬのが遺贈寄付です。大々的にPRをする類のものではないけれども、いざという時に寄付者の意志に応えられる体制や情報を持っているかどうかが肝心です。

その寄付もお金に限らず、土地建物など形は様々。その後の生かし方も千差万別であることがよく分かりました。いずれにしても大切な寄付を受け止め、活かす姿勢があるかどうか、信用される団体かどうかが問われるのだと思いました。

++++++

会員の募集

市民社会創造ファンドは会員募集しております。
市民活動助成を通してこれから市民社会を創造していくためには皆様の応援が欠かせません。何卒よろしくお願ひいたします。

正会員：1口 10000円、
賛助会員：1口 5000円

※年会費は10月1日より翌年9月30日までの1年分です。
詳細は[こちら](https://civilfund.org/cooperation/) (<https://civilfund.org/cooperation/>)

主催：市民社会創造ファンド (<https://civilfund.org>)

協力：認定特定非営利活動法人 日本NPOセンター、
公益財団法人 ひょうごコミュニティ財団